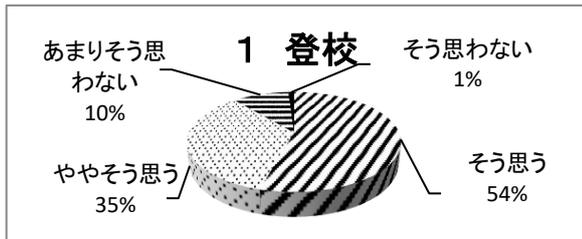


R5 後期 夷隅っ子アンケート集計結果(保護者)

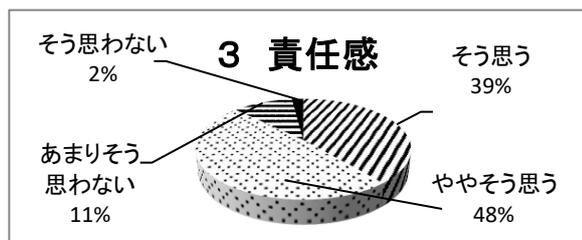
Q1 お子さんは、毎朝学校へ登校することを楽しみにしていますか。



〔考察〕

前期より3ポイント減少し「そう思う・ややそう思う」と回答した保護者が89%であった。児童が、毎日登校を楽しみにする学校づくりをするために、児童の様子を把握し、声かけを行い、全職員で全児童を見る指導体制を整える。

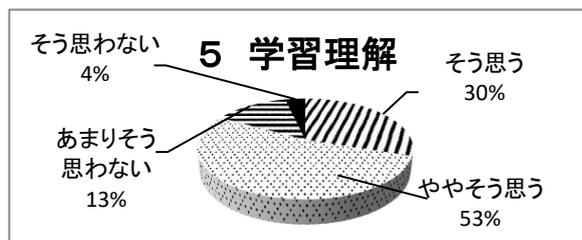
Q3 お子さんは、自分の役割に責任を持って取り組んでいますか。



〔考察〕

前期より1ポイント増加し、87%の保護者が責任感をもって取り組んでいると感じている。日々の教育活動を通して、責任をもって行動する場を設定し、称賛することで、自己肯定感を高め、責任感の育成に努めていく。

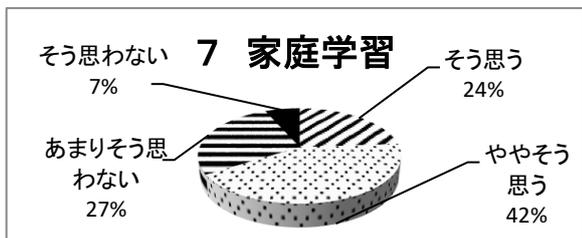
Q5 お子さんは、学校の授業はわかりやすいと言っていますか。



〔考察〕

前期より4ポイント増加し、83%が「そう思う・ややそう思う」と回答している。毎時間、自分の言葉で授業のまとめや振り返りを行ったことで、児童が学習の成果を実感できたからであると思われる。今後も児童の主体的な学習による学習理解に努める。

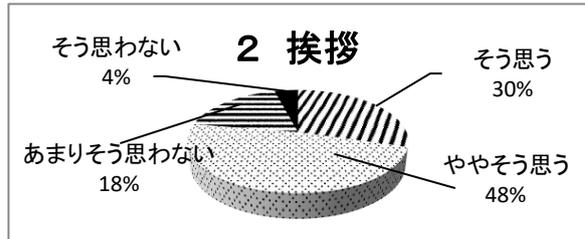
Q7 お子さんは、家庭学習の習慣が身についていますか。



〔考察〕

家庭学習の習慣が66%の家庭で身についていると感じている。家庭のご協力のもと8ポイントの向上が見られた。家庭学習習慣化へ引き続き、学校と家庭が連携し努める。

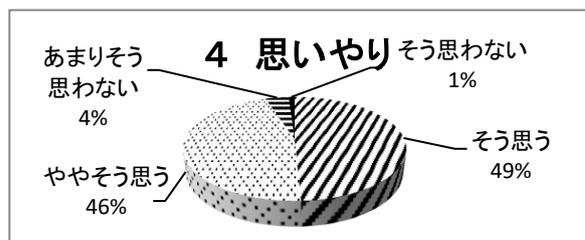
Q2 お子さんは、友だちや近所の人などに自分から進んで挨拶をしていますか。



〔考察〕

前期より3ポイント増加し78%の保護者が挨拶はできていると感じている。児童主体の『あいさつ運動』を行ったことが児童の意識の変化につながっていると考えられる。引き続き、児童の主体的な取組を取り入れ、挨拶の励行に努める。

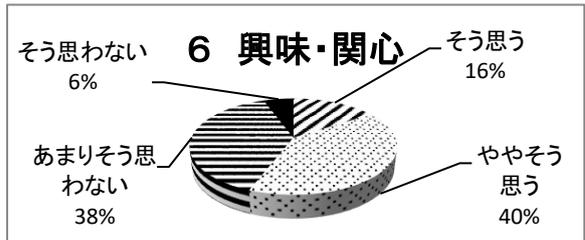
Q4 お子さんは、誰とでも優しく関わっていますか。



〔考察〕

前期より1ポイント増加し、95%の保護者が、誰とでも優しく関わっていると捉えている。児童自身が成長を実感できる声かけを行い、今後も、家庭・地域と連携して、道徳教育や心の教育に力を入れていく。

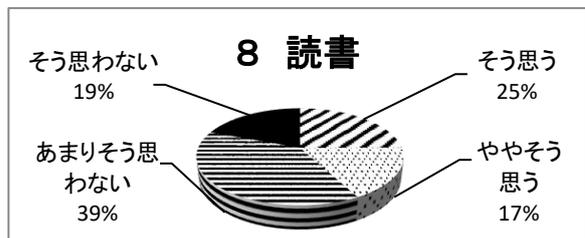
Q6 お子さんは、分からないことを自分から調べるなどいろいろなことに興味を持って学習に取り組んでいますか。



〔考察〕

前期より7ポイント減少し、56%が「そう思う・ややそう思う」と回答している。児童が、一人一台端末の利活用を通して主体的な学びが実感できる教育活動を進め、魅力ある授業づくりを奨めていく。

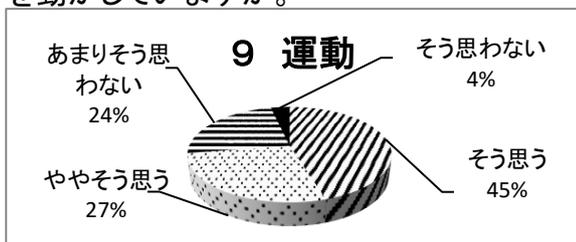
Q8 お子さんは、読書好きに育っていますか。



〔考察〕

前期同様58%が努力を求めている。図書室の本を増やすことや教室・廊下への貸出、本の紹介等を通し、本のよさや読書の魅力を紹介し、本に親しみ、読書好きな児童の育成をはかる。

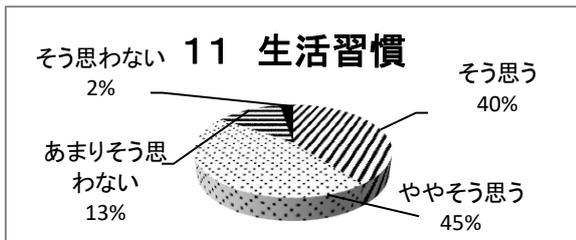
Q9 お子さんは、進んで外で遊ぶなど、体を動かしていますか。



〔考察〕

前期より6ポイント減少し72%が「そう思う・ややそう思う」と回答している。業間や昼休みの外遊びの励行や体育の授業を通して、児童が進んで体を動かすような場の設定をし、運動に親しませたい。

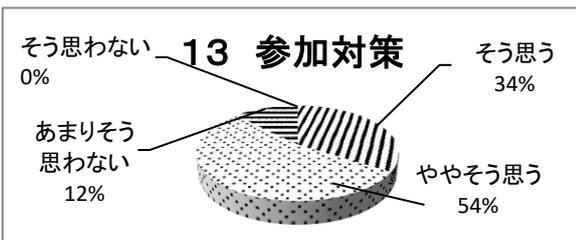
Q11 お子さんは、規則正しい生活習慣(睡眠、食習慣など)が身についていますか。



〔考察〕

前期より1ポイント減少し、15%が努力が必要と回答している。来年度も家庭教育学級や保健指導を通して、家庭・地域と連携して規則正しい生活習慣が身につくように啓発活動に努めていく。

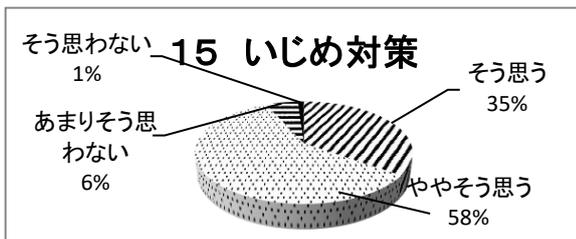
Q13 学校は、保護者や地域の方が、学校行事に参加しやすいように努めていますか。



〔考察〕

前期より2ポイント減少し、88%が良好な結果であると回答している。PTA本部役員・学年評議委員・地区評議員とともに活動を見直し、家庭・地域の協力を得て、参加しやすい学校行事や教育活動に努めていく。

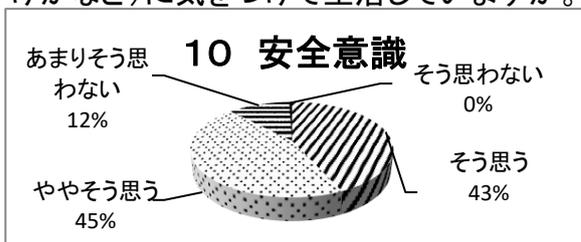
Q15 学校は、いじめや暴力のない学校生活を送れるよう取り組んでいますか。



〔考察〕

前期より1ポイント減少し、93%の保護者が良好な結果であると回答している。児童アンケートや教育相談をきめ細かく行い、児童一人ひとりの声を聴き、誰もが安心して学ぶことができる、いじめのない学校をめざしていく。

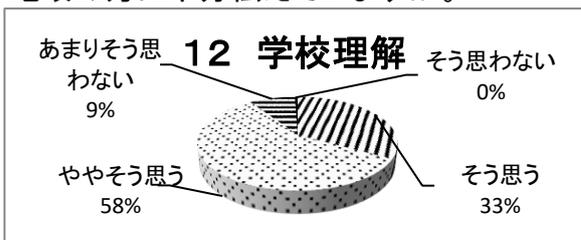
Q10 お子さんは、自らの安全(交通事故やけがなど)に気をつけて生活していますか。



〔考察〕

前期より2ポイント減少し、88%の保護者が、安全に対する意識が高いと捉えている。交通安全教室や安全点検、災害を想定した避難訓練を実施し、家庭・地域とともに安全意識の向上に努めていく。

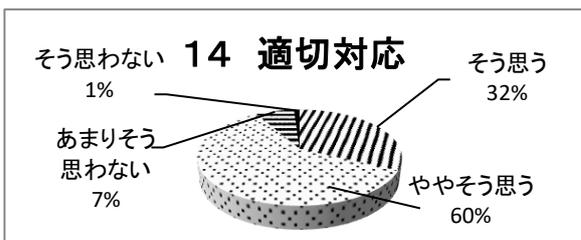
Q12 学校は、たよりやHP等で、お子さんの情報や教育方針・行事等の様子を家庭や地域の方に十分伝えていますか。



〔考察〕

前期より3ポイント増加し、91%が良好な結果であると回答している。今後も、各種たよりやホームページ等を充実させ、学校での教育活動を公開し、地域の教育力を得て、開かれた学校づくりに結びつけていく。

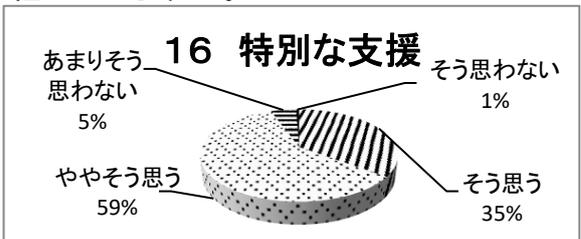
Q14 学校は、保護者の思いや願いに適切に対応していますか。



〔考察〕

前期より1ポイント減少し、92%が良好な結果であると回答している。面談や学校行事、アンケートから保護者の思いや願いを聴き取り、教育活動の充実を図っていく。

Q16 学校は、特別な支援を要する子どもの特性をよく理解し、個に応じた支援に取り組んでいますか。



〔考察〕

前期より2ポイント増加し、94%が良好な結果であると回答している。今後も児童一人ひとりを大切にした、個に応じた支援や保護者と合意形成を図った上で、個のニーズに応じた教育的配慮に努める。